

改訂基本計画

(平成24年度～平成28年度)

基本目標 1

【よろこびにあふれるひと】

～ 豊かな心をはぐくみ、
よろこびとふれあいにあふれたまち ～



【関連する主な分野】

平和・人権、教育、生涯学習、スポーツ・レクリエーション、芸術・文化、交流

心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をもったひと、豊かな感性をもったひとが育ち、活発な交流が行われている、よろこびとふれあいにあふれたまちをめざします。

達成方針

1-① <人間力>

一人一人の心のやさしさ、
学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ



1-② <感性>

生涯学習や文化などを通じ、
豊かな感性をはぐくむ



1-③ <交流>

ひと・文化の活発な交流が
広がる環境をつくる



達成方針1ー① 〈人間力〉

一人一人の心のやさしさ、
学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ

めざすまちの姿や暮らしの状態

- 心豊かな人間が形成されている
- 平和・人権意識が浸透している
- 男女共同参画社会になっている
- 生きる力が育成されている
- 個性が伸長されている
- 学ぶ意欲が育成されている
- 教育機能が向上されている

現状と課題

- 将来の先行きが見えにくい社会情勢のなかで、新しい地域社会を切り拓くことのできる人材の育成が求められています。
- 教育の現場では、子どもたちの道徳心の低下やいじめ・不登校・暴力行為の低年齢化など多くの課題に対して学校全体で取り組んでいます。今後はさらに、学校・家庭・地域・関係機関との連携により、支援体制を充実していくことが求められています。
- 子どもたち一人一人が持つ能力を引き出し最大限に伸ばし、自己実現を達成するために個に応じた支援体制を確立していくことが求められています。
- 成熟した地域社会に向けて、性別や年齢、障がいなどの既成の偏見や固定観念に捉わられることなく、一人一人の個性や能力を適切に活かしていく市民意識と社会のしぐみを育てる環境づくりが求められています。

施策体系

【達成方針】

1-① <人間力> 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ

【基本施策】

1. いのちを大切にすることをもち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる
2. 平和・人権に関する意識啓発を推進する
3. 男女共同参画意識を高める
4. 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる
5. 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する
6. 教育施設・機能を整備・充実する

基本施策

1. いのちを大切にすることをもち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる

- ◆ 学校・家庭・地域・関係機関との連携を強め、子ども時代から規範意識や道徳心を身につける教育を進めます。
- ◆ 健全な青少年育成のため、地域活動や社会体験を通じたリーダー育成、国際交流・自然学習などを進めるとともに、非行防止や相談活動を充実します。

【個別施策】

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 学校・家庭・地域・関係機関との連携推進 | 2 教育関連機関との連携推進 |
| 3 青少年活動の推進 | 4 青少年育成体制の充実 |
| 5 道徳教育の推進 | |

2. 平和・人権に関する意識啓発を推進する

- ◆ 核兵器廃絶平和都市宣言※の理念に基づき、平和意識の普及・啓発に努めるとともに、人権擁護のための相談体制の充実、街頭キャンペーンや講演会などによる人権意識の高揚を図ります。

【個別施策】

- 1 平和意識の普及・啓発
- 2 人権意識の高揚

3. 男女共同参画意識を高める

- ◆ 学習講座、学校教育、情報発信などを通じて、性別による固定的な役割分担意識の改革、男女共同の意識づくり、人権を尊重する環境づくりを進めます。
- ◆ ひらつか男女共同参画推進協議会の意見を尊重し、行政機関や企業、地域組織など様々な分野で男女共同参画を進め、多様な生き方を選択し、個人の資質・能力を発揮できる社会環境を整えていきます。

【個別施策】

- 1 男女共同参画社会に向けた意識改革
- 2 あらゆる分野における男女共同参画の推進
- 3 女性に対するあらゆる暴力の根絶と人権の尊重
- 4 男女共同参画社会の実現に向けた市の積極的な取組み

4. 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる

- ◆ いじめ・不登校・暴力行為など子どもたちが抱えている諸問題に対して、スクールカウンセラー*の配置、関係機関との連携により、相談・指導体制を推進するとともに、個に応じた支援の充実に努めます。
- ◆ 学校・市民・企業・市の連携を強めて、家庭や地域の教育力を高めるとともに、子どもが健全な生活習慣や自律心（自立・自発）を身につけ、自ら学ぶ意欲・働く意欲をもてる環境をつくりまします。

【個別施策】

- 1 指導・相談・支援体制の充実
- 2 生きる力の育成

5. 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する

- ◆ 教職員の指導力を高めながら、知識や技能の習得とともに、ひとや自然、社会、芸術などとのふれあいによる豊かな心や健やかな身体をはぐくむとともに、英語教育などの国際化に対応した教育活動を進めます。
- ◆ 児童・生徒の個性を把握し、生きる力をはぐくむ学校づくり、学校運営の充実を図るとともに、学習形態の工夫や学習内容を充実します。
- ◆ 地域の資源を生かし、地域との密接な連携のもと、地域に根ざした魅力ある学校教育活動を展開します。

【個別施策】

- 1 教育内容の充実
- 2 学校運営の充実
- 3 個に応じた教育の推進

6. 教育施設・機能を整備・充実する

- ◆ 児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、教育施設・設備を整備・充実します。
- ◆ 教育課程の実施に必要な教材・教具を充実します。

【個別施策】

- 1 教育施設・設備の整備・充実
- 2 教材・教具の充実

主な事業 《人間力》

- ◆生きる力をはぐくむ教育の推進（基本施策 4－個別施策 2）
- ◆隣接校解消のため、相模小学校の移転推進（基本施策 6－個別施策 1）
- ◆小・中学校屋内運動場の整備（基本施策 6－個別施策 1）

市民と市の役割

● 市民 ●

- ◇地域・学校行事への積極的な参加
- ◇子どもの地域活動支援
- ◇地域の青少年団体や青少年健全育成行事への参加
- ◇親子のふれあいの充実
- ◇子どもの体験活動の充実
- ◇平和の大切さについて家族で考える
- ◇人権について理解を深める
- ◇男女共同参画に関する意識の醸成
- ◇地域ぐるみで子どもを育成
- ◇子どもの自主的な取組みへの理解
- ◇大人と子どものコミュニケーションの推進

● 市（行政） ●

- ◇地域に開かれた学校づくり
- ◇幼・小・中の連携の推進
- ◇青少年健全育成活動実施及び拡充
- ◇学校における道德教育の推進
- ◇子どもによる奉仕活動の推進
- ◇平和事業の推進
- ◇人権啓発事業の推進
- ◇男女共同参画社会の形成に向けた職員・市民・事業者への意識啓発の充実
- ◇教育問題の解決に向けた連絡組織体制の強化や研修体系の整備
- ◇学習提供と自主的な活動の支援
- ◇学習面・生活面への支援補助体制の充実
- ◇学校教育施設の良好な環境の維持
- ◇自ら学ぶことのできる学習環境の推進



市民広島派遣

成果指標の推移

■地域の教育ボランティア※の人数（年間）

（担当課資料）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
3,209人	3,300	7,259	3,400 → 7,500

【備考】上記の実績値は平成23年3月31日現在のもの。
この実績値が28年度目標値を上回ったため、当初設定した目標値から上方修正します。

■『青少年が心身共に健全に成長する環境が整っている』と感じている市民の割合

（市民意識調査）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
9.9%	20.0	13.6	30.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■人権事業への参加者数（年間）

（担当課資料）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
863人	1,100	3,480	3,000 → 4,000

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。この実績値が28年度目標値を上回ったため、当初設定した目標値から上方修正します。

■『男女共同参画や人権擁護など自由で平等な地域社会となっている』と感じている市民の割合

（市民意識調査）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
13.7%	16.0	12.9	18.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■平和事業への参加者数（年間）

（担当課資料）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
4,514人	6,200	4,406	6,900

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。

■『学校教育が充実している』と感じている市民の割合

（市民意識調査）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
15.5%	25.0	13.2	33.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■不登校児童の出現率

（担当課資料）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
0.52%	0.47	0.46	0.42

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。

■不登校生徒の出現率

（担当課資料）

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
3.61%	3.3	4.6	3.0

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。

達成方針1－② 〈感性〉

生涯学習や文化などを通じ、
豊かな感性をはぐくむ

めざすまちの姿や暮らしの状態

- 学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ
心の豊かさがある
- 質の高い芸術・文化を追求する心のゆとりが
ある
- 個性ある平塚の郷土文化を感じる心の幸せが
ある
- 文化財を守り伝える心のやさしさがある

現状と課題

- 芸術・文化・スポーツ・レクリエーションなどに対する関心の高まりにより、市民一人一人のニーズへの対応が求められています。
- 地域の歴史や文化、様々な分野の文化人の足跡を掘り起こし、多様な形態での文化への楽しみ方を提案し、文化施設の有効活用や市民の参加を進めるなかで、平塚独自の文化を再認識し、創造し、そして伝えていく心と感性をはぐくんでいくことが求められています。
- 地域で大切に守り伝えられてきた伝統文化を保護・保存し、将来に向けて継承していくことが求められています。

施策体系

【達成方針】

1-② <感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ

【基本施策】

1. 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する
2. 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する
3. 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する
4. 価値ある歴史的遺産を守り伝える環境をつくる

基本施策

1. 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する

- ◆ 学習情報や発表の場の充実、人材育成などにより、様々な学習活動を支援するとともに、学習機会を充実します。
- ◆ 自分の体力に応じて気軽に楽しめるスポーツを普及し、健康づくりを促進します。
- ◆ 湘南ベルマーレとのふれあいや交流など、市民が生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを親しめる環境を充実します。
- ◆ 指導者の育成や、学校・民間施設の活用などによってスポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実します。

【個別施策】

- 1 生涯学習活動の推進
- 2 スポーツ・レクリエーション活動の充実
- 3 スポーツ・レクリエーション振興体制の充実
- 4 スポーツ・レクリエーション施設の活用

2. 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する

- ◆ クラシックコンサートや伝統芸能・演劇など優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実します。
- ◆ 優れた美術作品、歴史的価値のある資料、文化財と常設展示を充実させるとともに、博物館や美術館の企画展・特別展示などを充実します。

【個別施策】

- 1 芸術・文化鑑賞機会の充実
- 2 博物館展示活動の充実
- 3 美術館展示活動の充実

3. 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する

- ◆ 文化活動団体の育成など、文化活動の普及・促進とともに、囲碁によるまちおこしなど平塚の新しい文化の創造に努めます。
- ◆ 身近な学校・公民館における芸術・文化活動の専門的な指導、指導者としての地域の人材の活用、学校教育との連携により、市民の芸術・文化活動の幅を広げていきます。
- ◆ 芸術・文化施設においては、経営感覚を活かして、歴史・文化の学習、野外での環境学習、科学への関心を高める活動やワークショップ※、ひとつのテーマから多面的な関心を呼び起こすイベントなどを企画します。
- ◆ 自由で気軽に芸術・文化活動に取り組める環境と場所をつくれます。

【個別施策】

- 1 芸術・文化活動の充実
- 2 博物館教育普及活動の充実
- 3 美術館教育普及活動の充実
- 4 図書館活動の充実

4. 価値ある歴史的遺産を守り伝える環境をつくる

- ◆ 郷土意識を啓発・醸成するため、固有の歴史や文化財の調査・研究を進め、成果の公開・活用を進めます。
- ◆ 郷土芸能の継承・保存に向けて調査を進めるとともに、保存・公開のための施設の整備、イベントの開催、後継者の育成などを進めます。

【個別施策】

- 1 歴史・文化財の調査・研究・公開・活用の推進
- 2 郷土芸能の調査・公開・後継者の育成

主な事業 《感性》

- ◆ 囲碁によるまちおこしの推進（基本施策 3－個別施策 1）
- ◆ 無形文化財の継承・保存（基本施策 4－個別施策 2）

市民と市の役割

● 市民 ●

- ◇ 自己を高める生涯学習の実践
- ◇ 生涯学習成果を活かした地域活動への取組み
- ◇ スポーツ・レクリエーション・イベントへの参加
- ◇ 生涯スポーツへの理解と関心を深める
- ◇ 芸術・文化の鑑賞・創作・表現活動への参加
- ◇ 芸術・文化活動への参加を通じた平塚らしさのある文化の醸成
- ◇ 余暇時間の有効活用
- ◇ 歴史・文化財・伝統文化の理解と保存と継承
- ◇ 地域の歴史・芸術・文化を大切にする意識の高揚

● 市（行政） ●

- ◇ 生涯学習講座及び指導者などの情報提供
- ◇ 生涯学習成果の発表機会などの拡充
- ◇ 誰でも親しむことができる生涯スポーツなどの推進
- ◇ スポーツ活動が円滑に進むための調整
- ◇ 芸術・文化に関する情報の発信
- ◇ 芸術・文化に関する活動の支援活性化
- ◇ 図書を整備・貸出し・自主事業の実施
- ◇ 歴史・文化財・伝統文化の調査・意識啓発・保存と継承の支援



囲碁入門教室

成果指標の推移

■『平塚の芸術・文化をはぐくむ体制が整っている』

と感じている市民の割合 (市民意識調査)

計画策定時		23年度	28年度目標値
18.9%	目標	23.0	38.0
	実績	30.3	

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■『市民の生涯学習活動を支援する体制が整っている』

と感じている市民の割合 (市民意識調査)

計画策定時		23年度	28年度目標値
14.1%	目標	18.0	23.0
	実績	18.0	

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■『市民が体力・年齢・目的に応じて、様々なスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境が整っている』と感じている市民の割合 (市民意識調査)

計画策定時		23年度	28年度目標値
27.5%	目標	40.0	50.0
	実績	32.4	

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■博物館利用者数 (年間)

(平塚市統計書)

計画策定時		23年度	28年度目標値
74,898人	目標	78,000	86,000
	実績	51,627	

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。

■美術館利用者数 (年間)

(平塚市統計書)

計画策定時		23年度	28年度目標値
59,080人	目標	65,000	80,000
	実績	95,049	

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。この実績値が28年度目標値を上回ったため、当初設定した目標値から上方修正します。

■市民一人当たりの図書などの貸出点数 (年間)

(担当課資料)

計画策定時		23年度	28年度目標値
6.07点	目標	7.0	7.5
	実績	6.52	

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。

■図書館の蔵書冊数

(担当課資料)

計画策定時		23年度	28年度目標値
802,266冊	目標	870,000	1,000,000
	実績	799,377	

■図書館利用者数 (年間)

(担当課資料)

見直し時		28年度目標値
896,086人		965,000人

【備考】上記の実績値と見直し時の数値は平成22年度中のもの。移動図書館での訪問や目の不自由な方への郵送サービスの拡充、並びに収集資料の内容充実により図書館利用者数の増加を促し、市民の読書文化の充実を図るため、平成24年度以降は、成果指標を『図書館の蔵書冊数』から『図書館の利用者数』へ変更し施策を推進します。

達成方針1－③ 〈交流〉

ひと・文化の活発な交流が
広がる環境をつくる

めざすまちの姿や暮らしの状態

- 市民と大学・高校・企業との盛んな交流のあるまちになっている
- 活発な人間・都市間交流により、開かれたまちになっている。

現状と課題

- 市民と大学・高校・企業との、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境など各分野での交流が求められています。
- 文化・スポーツ・産業など幅広い分野で市民主体の国際交流や都市間交流により、市民文化を高めるとともに、地域に活力を与えていくことが求められています。
- 国際化が進展するなか、国際交流の機会を通じて市民の豊かな国際感覚の醸成が求められています。

施策体系

【達成方針】

1-③ <交流> ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる

【基本施策】

1. 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する
2. 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める

基本施策

1. 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する

- ◆ 地元大学・高校や企業による地域活動への参加、多様な社会貢献[※]活動の展開などにより、学術・文化・スポーツなどを通じた市民との交流活動を進めます。

【個別施策】

- 1 地元大学・高校や企業との交流

2. 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める

- ◆ ローレンス市（米国）との交流を中心として、市民主体の交流活動を推進するとともに、新たな都市との国際姉妹都市提携をめざします。
- ◆ 友好都市（岐阜県高山市・岩手県花巻市）や市民休養の郷(さと)*（静岡県伊豆市）を始めとして、産業・文化・スポーツなど幅広い分野にわたる都市間交流を進めます。
- ◆ 市民レベルの草の根の交流*や地域における外国籍市民との交流を進め、いろいろな国、地域などの異文化を理解するとともに、豊かな国際感覚をもった人材を育成していく機会を提供していきます。

【個別施策】

- 1 国際交流活動の推進
- 2 友好都市交流の推進
- 3 外国籍市民との交流の推進



ローレンス市青少年との交流

主な事業 《交流》

- ◆ 市民・大学交流の推進（基本施策 1－個別施策 1）
- ◆ 国際交流活動の推進（基本施策 2－個別施策 1）
- ◆ 外国籍市民との交流の推進（基本施策 2－個別施策 3）

市民と市の役割

● 市民 ●

- ◇ 様々な交流の場への参加
- ◇ 事業者・大学などへの呼びかけ
- ◇ 姉妹都市などに対する意識を深める
- ◇ ホームステイへの参加と受入れ
- ◇ 外国籍市民への理解を深める
- ◇ 外国籍市民のためのボランティア活動参加

● 市（行政） ●

- ◇ 様々な交流事業への支援、協力
- ◇ 姉妹都市などの理解を深めるための啓発
- ◇ 交流機会の提供
- ◇ ホームステイ体験の促進
- ◇ 大学の交流プログラムへの協力

成果指標の推移

■『国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流などを通じて、地域の文化や経済が発展している』と感じている市民の割合 (市民意識調査)

計画策定時		23年度	28年度目標値
	目標	18.0	
10.6%	実績	9.2	20.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■『コミュニティ活動※やボランティア※活動が充実している』と感じている市民の割合 (市民意識調査)

計画策定時		23年度	28年度目標値
	目標	25.0	
15.4%	実績	21.7	30.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■平塚市民・大学交流委員会主催事業への参加者数 (年間) (担当課資料)

計画策定時		23年度	28年度目標値
	目標	16,800	
16,545人	実績	4,721	→ 指標変更

■市民向け大学交流事業への参加者数 (年間) (担当課資料)

見直し時		28年度目標値
18,544人		21,000

【備考】上記の実績値と見直し時の数値は平成22年度中のもの。これまで、市民・大学交流委員会主催事業のみを参加者数把握の対象としてきましたが、市民・大学交流委員会主催事業の見直しや、委員会によらない市民向け大学交流事業が実施されるようになったため、平成24年度以降は、これらを含めた成果指標へ変更し施策を推進します。

■交流イベントや国際理解講座への参加者数 (年間) (担当課資料)

計画策定時		23年度	28年度目標値
	目標	3,900	
3,634人	実績	4,456	→ 4,800

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。この実績値が28年度目標値を上回ったため、当初設定した目標値から上方修正します。

■日本語教室の受講者数 (年間) (担当課資料)

計画策定時		23年度	28年度目標値
	目標	200	
154人	実績	157	250

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。

■姉妹都市市民や外国籍市民との交流会やホームステイへの参加者数 (年間) (担当課資料)

計画策定時		23年度	28年度目標値
	目標	300	
261人	実績	112	300

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。